

## 令和5年度 倉敷市地域福祉基金助成事業実施アンケート

助成期間: R.1年度～ R.3年度

団体名: 未就園児親子の会→aSoViva～アソビバ～

## 一年活動をしての感想

※参加者に喜んでもらったこと、地域福祉基金からの助成がこういったことに生きていることなどを自由に記載してください。

(記載例)

## ①実施した内容

・2023年4月より、未就園児親子の会は、代表の転勤に伴い、代表やメンバーに変更がありましたが、新たに名前を変え、aSoViva～アソビバ～としてスタートしました。  
aSoViva～アソビバ～は親も子もたくさんの体験や経験を通して、あそびながら学べるような場づくりを心がけて活動しています。2023年度は岡山市ESDプロジェクトの助成をいただきながら、食・運動・学業以外の学びの三本柱で活動しました。以下実施内容です。

## A.第1回子ども栄養教室(運動後に開催)

2023年7月7日(金)17:30～20:30 倉敷健康福祉プラザ調理室 小学生23名  
運動後に食べると良い食事について学び、子どもたちで協力して作ってみんなで食べた。

## B.親子料理教室～発酵食のススメ～(協働:ママの働き方応援隊岡山校)

2023年7月15日(土)10:30～13:00 倉敷健康福祉プラザ調理室 大人17名 子ども32名  
他団体と協働し、発酵をテーマに大阪から講師を招き、親子で参加できる料理講座教室を開催した。

## C.大人料理教室～お出汁講座～(協働:ママの働き方応援隊岡山校)

2023年10月6日(月)10:00～14:00 岡山北ふれあいセンター 大人9名 子ども2名  
熊本からお出汁の食育講師を招いて、大人向けの食育講座を開催した。

## D.第2回子ども栄養教室

2023年11月17日(金)17:30～20:30 倉敷健康福祉プラザ調理室 小学生24名  
食品の分類について学び、栄養バランスのとれた食事を子どもたちで協力して作ってみんなで食べた。

## E.バウ・リニューアルフォトマルシェ共催 &amp; 子どもお仕事体験(協働:mama's color)

2023年12月17日(日)10:00～16:00 岡山市北区檜津 and.r 50名  
子どものお仕事体験として、一緒にマルシェに出店した。また、共催としてイベントを運営した。

## F.ピラティス&amp;プレスト体験～カラダも頭も動かそう～

2024年2月16日(金)17:00～19:00 倉敷市立葦高小学校体育館 小学生以下26名 大人10名  
外部講師を招いてピラティス体験で大人も子どももカラダを動かした。  
また、子どもたちだけでプレスト(あるテーマに対して自由に意見やアイデアを出し合う)体験をし、頭を動かした。

## ②参加者の感想

(参加子どもの感想)

- ・友達と協力して料理を作ることはとても楽しかった。またやりたい。
- ・家だと苦手で食べられなかったものが、みんなで作ることでおいしく食べれた。
- ・難しかったけど、同じチームの人や先生に教えてもらってできたときがとてもうれしかった。
- ・プレストは初めてだったけど、ゲームみたいでおもしろかった。
- ・お仕事体験はカフェのお手伝いをして、初めての経験でドキドキしたけど楽しかった。

(参加大人の感想)

- ・普段何気なく食べているものも、その意味や効果を知るともっと学びたくなった。大人になっても学ぶのはとても楽しいことだと思った。
- ・なかなか自分のカラダに向き合うことがないが、子どもと一緒にピラティス体験ができてコミュニケーションにもなって楽しかった。
- ・子どもが積極的に学んだり取り組んでいる姿を見ることができてうれしかった。

(スタッフの感想)

講師や運営側として全体を見ていて、やはり体験、経験を通して学ぶことはとても大切で、しかも、みんなで協力して取り組む、楽しみながら取り組む、ということがとても重要なのだと改めて実感した。

### ③地域福祉基金の有用性

今年度は地域福祉基金を使用した活動ではなかったが、このように活動の幅を広げるきっかけになったのは、やはり3年間助成していただいたからです。

利益を出すことを目的に活動しているわけではないが、実際活動する中でどうしても経費はかかります。そんな時に、あきらめるのではなく、助成という助けを借りながら、自走できる仕組みを整えていくことができるのでとてもありがたいと感じています。

あきらめずにチャレンジできるということを身をもって感じていますし、また新たな挑戦をしたいと思っています。

### ④今後の展開・夢・課題など

・新事業として、倉敷市中庄に、畑を借りて、三世代交流や、土や自然に触れること、食べものについて体験を通して知ること、などを目的として、農業を始めています。

早くも、地域の高齢者の方から0歳児まで幅広い世代の人が立ち寄り、また、未就学児や小学生など多く吸収できる時期の子どもたちも参加できる場所になりつつあります。

この場所にたくさんの人が集い、多世代交流しながら、経験、体験を通して学び、人と人とのつながりを大切にしたい関係を構築し、孤育て、高齢者の孤独などの解消の一助にもなればよいなと思っています。

資金面でまだまだ課題が残っていますが、助成金を活用しながら、自走できる仕組みも作りつづだれもが気軽に足を運べる場所にしていきたいと思っています。

※このアンケートは、地域福祉基金の助成を受けたことのある団体から、事業開始後5カ年度の期間提出していただくものです。